

# 第一種奨学金(海外大学院学位取得型対象)貸与月額変更願(増額)

独立行政法人

日本学生支援機構理事長 殿

私は、返還総額が増すことを理解したうえで、独立行政法人日本学生支援機構奨学金の貸与月額を下記のとおり増額することを願います。つきましては、返還誓約書(兼個人情報取扱いに関する同意書)で確認し、誓約した内容に加えて、貸与月額の増額に係る一切の債務に関しても、確認書並びに返還誓約書(兼個人情報取扱いに関する同意書)及び日本学生支援機構諸規定に定める取扱いに従うことを誓約します。

## ■奨学生本人記入項目

※太枠線内及び必要事項は正確に、もれなく記入し、押印のうえ機構に提出してください。  
 ※連帯保証人・保証人の印鑑登録証明書(各1通)と合わせて提出してください。

記入日	(西暦) 年 月 日	生年月日	(西暦) 年 月 日 (満 歳)
奨学生番号		フリガナ	印
6	1	0	
氏名(自署)			
国・地域	学校名		学部・研究科名

## (1)変更後の借入金額(予定)

変更後の借入金額(予定)											円
--------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

※変更後の借入金額は、貸与期間中に貸与される総額(増額分を含む)を記入してください。(貸与月額ではありません。)  
 ※本願による月額の増額に加え、貸与期間も延長となる場合は、貸与期間延長後の金額を記入してください。

※借入金額を訂正する場合は、裏面「3. 変更後の借入金額(予定)欄の訂正方法について」を参照してください。  
 本人・連帯保証人・保証人の訂正印が必要です。また、訂正金額は全ての桁(ゼロも含める)を上部余白に記入してください。

## (2)月額変更

希望する増額始期	西暦	2	0	年		月	から	※「希望する増額始期」については、本願の機構への提出月以降を記入してください。			
従前の奨学金月額				円	→	希望する奨学金月額(注)					円
変更する理由											

(注)在学する学校種別により変更可能な月額が異なるので、裏面「1. 第一種奨学金変更可能月額一覧表」を参照してください。  
 ※月額変更に伴い、保証料月額が変更となります。

## ■連帯保証人・保証人記入項目

(注)連帯保証人・保証人それぞれの自署と実印での押印、及び添付書類として印鑑登録証明書(各1通)の添付が必要です。  
 機構届出の連帯保証人又は保証人が債務整理(破産等)中の場合は、本願提出前に「連帯保証人・保証人等変更届」を提出してください。

私は、上記の貸与月額の増額を承諾し、記載の奨学生番号によって本人が負担する一切の債務につき、奨学金の返還の完了まで本人と連帯して保証し、関係法令及び返還誓約書等にしたがって債務履行の責を負います。	
機構届出の住所 連帯保証人 (自署) 氏名	実印 電話番号 ( ) (昭和・平成) 生年月日 年 月 日
私は、上記の貸与月額の増額を承諾し、記載の奨学生番号によって本人が負担する一切の債務につき、奨学金の返還の完了まで保証し、関係法令及び返還誓約書等にしたがって債務履行の責を負います。	
機構届出の住所 保証人 (自署) 氏名	実印 電話番号 ( ) (昭和・平成) 生年月日 年 月 日

## ■親権者又は後見人記入項目

(以下は本人が未成年者の場合のみ記入してください)  
 上記の者が、現在貸与を受けている奨学金について本申請を行うことに同意します。

親権者又は後見人	住所	電話番号 ( )
	(親権者・後見人) 氏名(自署)	実印 (昭和・平成) 生年月日 年 月 日
親権者又は後見人	住所	電話番号 ( )
	(親権者) 氏名(自署)	実印 (昭和・平成) 生年月日 年 月 日

本人が未成年者(20歳未満)の場合には、親権者がそれぞれの欄に自署・押印してください。親権者が連帯保証人の場合も、本人が未成年者であれば必ず自署・押印してください。親権者とは、民法に定める親権者のことで、通常は両親です。両親がいる場合は、必ず二名とも記入してください。いずれかがない場合は一人が記入し、余白に一人の旨を記入してください。後見人がいる場合は、後見人が自署・押印してください。奨学金申込時の「親権者又は後見人」から変更されている場合は、余白にその旨を記入してください。

## 1. 第一種奨学金(海外大学院学位取得型対象)の変更可能月額一覧表

(修士課程)

貸与月額	50,000円	88,000円
------	---------	---------

(博士課程)

貸与月額	80,000円	122,000円
------	---------	----------

### 変更後の借用金額(予定)の例

採用時に、2019年4月～2021年3月まで月額5万円の貸与を希望して採用され返還誓約書を提出した方が、2020年4月より月額を8万8千円に増額する場合、変更後の借用金額(予定)は、以下のとおり、1,656,000円となります。

①2019年4月～2020年3月(12か月)×5万円＝60万円

②2020年4月～2021年3月(12か月)×8万8千円＝105万6千円 合計165万6千円

## 2. 「貸与月額変更願」の最終提出期限

該当者	最終提出期限(不備の解消含む)
3月で貸与終了となる方	貸与終了年度の1月10日 海外貸与係 必着
その他の方の年度内の変更	2月10日 海外貸与係 必着

## 3. 変更後の借用金額(予定)欄の訂正方法について

奨学生に採用された後に月額の変更や貸与期間の延長・訂正に伴い、借用金額(予定)を増額する場合は、「返還誓約書」に記載した借用金額の増額となるため、本人及び親権者(本人が未成年者(20歳未満)の場合)に加え、連帯保証人と保証人にも同意を得たうえで署名捺印(実印)と印鑑登録証明書の添付が必要です。そのため、「変更後の借用金額(予定)」を誤って記入した場合は、次のとおり訂正が必要です。

「変更後の借用金額(予定)」の訂正方法

次の①②のいずれかの方法で訂正してください。

① 借用金額全体を二重線で抹消し「訂正印」を押し、余白に正しい金額を記入する。

本人印に加え、連帯保証人と保証人の実印による訂正印が必要。

② 新たな用紙に記入する。

①誤った借用金額に二重線を引きます(1円の単位まですべての数字を抹消してください)

変更後の借用金額(予定) 2215000円

②二重線の上に、訂正印を押印してください。

本人印・連帯保証人実印・保証人実印を重ねないように押印。

変更後の借用金額(予定) 4800000円

本人 連帯保証人 保証人

③正しい金額を訂正した欄の上部余白に、はっきりと記入してください。

変更後の借用金額(予定) 4800000円

本人 連帯保証人 保証人